

各位

ENEOSグローブ株式会社

「九州液化瓦斯福島基地 1MWメガソーラー発電設備建設」について

当社(社長:松澤 純)とアストモスエネルギー株式会社(社長:山崎 達彦)の共同出資によるLPガス輸入基地である九州液化瓦斯福島基地株式会社(社長:太田 辰則)は、1MWのメガソーラー発電設備を建設することを決定しましたので、お知らせいたします。

本設備は、2012年7月に施行された再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、2013年10月発電開始から20年間の売電を計画しております。

当社は、環境にやさしいLPガスの元売事業会社として、地球環境問題に取り組んでまいりましたが、今後も自社グループ遊休地をはじめとした太陽光発電事業への取組みにより、引き続き日本の更なる再生可能エネルギーの普及に努めてまいります。

1. 設備概要

名称	ブルーナインソーラーステーション
設置場所	長崎県松浦市福島町(九州液化瓦斯福島基地敷地内)
売電先	九州電力株式会社
売電期間	2013年10月発電開始から20年間を計画
敷地面積	14,500 m ²
発電出力	約1MW
発電開始	2013年10月(予定)
年間予想発電量	約100万kWh(1,000 MWh) 一般家庭約300世帯分の年間消費電力量に相当
年間CO ₂ 削減量	約400t

2. 九州液化瓦斯福島基地株式会社 概要

所在地	長崎県松浦市福島町塩浜免58番地2
設立	昭和52年12月
事業内容	LPガスの貯蔵・受払い並びに国家石油ガス備蓄基地の運営受託
資本金	40億円(出資比率 当社50% アストモスエネルギー50%)

以上

当記事の連絡先
経営企画部 広報グループ
TEL 03-5253-9060